

土砂災害ハザードマップ配布状況について

1 盛岡市の土砂災害危険箇所と警戒区域等への指定状況 (H27. 10. 2 現在)

	土石流	急傾斜地	地滑り	計
土砂災害危険箇所	369	218	9	596
うち土砂災害警戒区域	195	100	—	295
うち土砂災害特別警戒区域	139	100	—	239

※警戒区域：土砂災害により生命・身体に危害が生じる恐れがあると認められる区域

※特別警戒区域：土砂災害により建築物に損壊が生じ、生命・身体に特に著しい危害が生じる恐れがある区域

2 警戒区域等への指定の経過状況

年度	H17～H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
箇所数	51	34	11	4	0	121	0	74
累計	51	85	96	100	100	221	221	295
箇所数進捗率	8.6%	14.3%	16.1%	16.8%	16.8%	37.1%	37.1%	49.5%

※進捗率の分母は 596 箇所

※警戒区域等の指定は、基礎調査結果に基づき住民説明を行った後、県が指定

3 土砂災害ハザードマップ作成・配布状況

市では、町内会等と打合せを行いながら、避難経路や避難場所、日頃の注意事項を記載した土砂災害ハザードマップの作成・配布を行っている。

年度	H23	H24	H25	H26	H27 予定	H28 予定	H29 予定
箇所数	3	36	5	14	82	81	74
マップ枚数	1	9	1	1	20	18	10
箇所数累計	3	39	44	58	140	221	295
箇所数進捗率	1.4%	17.6%	19.9%	26.2%	63.3%	(100.0%)	

※進捗率の分母は、H26 までの指定済警戒区域 221 箇所

※H28 年度末までに、H26 年度末指定の 221 箇所の配布予定

※H29 年度末までに、H27 年度末指定箇所全てを配布予定

(添付参考資料)

- ・「土砂災害ハザードマップ」の例
- ・「土砂災害に注意！」 (危機管理防災課が全戸に回覧)

土砂災害に備えて

大雨の時など避難の際に必要となりますので、家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。

①土砂災害警戒区域や避難場所等を確認しておきましょう！ (裏面参照)

黄色で囲まれた範囲、土砂災害警戒区域は「土砂災害が発生した場合、住民の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域」です。
赤色で囲まれた範囲、土砂災害特別警戒区域は「土砂災害が発生した場合、建築物に危害が生じ、住民に甚しい危害が生じるおそれのある区域」です。

②雨が強くなってきたら、積極的に土砂災害警戒情報を確認しましょう！

◆まずはテレビやラジオ等で気象情報を確認しましょう。
NHKのデータ放送からも岩手県内の「土砂災害警戒情報」の発表状況が確認できます。
・盛岡地方気象台 <HP> <http://www.jma-net.go.jp/morioka/> 019-622-7868
・いわて防災情報ポータル <HP> <http://www2.pref.iwate.jp/~bousai/>

③前兆現象を見つけたら直ちに避難し、盛岡市役所危機管理防災課まで連絡してください！ →他の住民の避難や避難先の体制について自主防災組織と連携して取り組みます。

土砂災害の種類	前兆現象
<p>かけ崩れ</p>  <p>植木が急な斜面から土砂が崩れ落ち、家屋や道路を押しつぶす災害です。</p>	<p>がけに亀裂が入る がけから土の塊が落ちるような音がある</p>  <p>がけが土砂がパツパツと落ちてる</p>  <p>がけから水が湧き出す</p>

自主的な判断で避難を心がけましょう！！

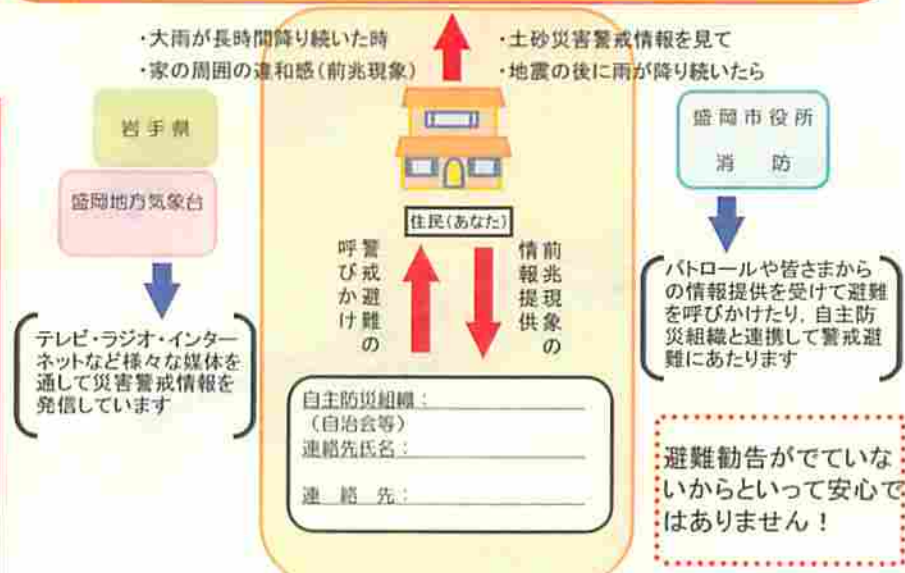
避難

あなたが身を置ける場所（ご親戚やご友人のお宅など、とにかく一時的に避難する所を決めておきましょう。）

連絡先等
<参考>

※地図には、一般的な施設を示していますが、自分が行こうと決めている所に印をつけて、自分だけの避難マップとして活用しましょう。

まずは危険箇所から離れる



④自分で危ないと思った時、自主防災組織からの避難指示を受けた時、市から避難勧告等を受けた時 には直ちに避難しましょう！

- ◆②の情報をもとに避難準備を始め、③のような状況を確認したら直ちに避難を始めてください。
- ◆とにかく自分自身が異常だと感じたら、避難指示を待つのではなく行動を始めてください。
- ◆避難場所への避難が困難な場合、土石流の恐れがある状況においては周囲の建物より比較的高い建物（鉄筋コンクリート等の堅固な建物）の2階以上への待避、がけ下にお住まいでがけ崩れの恐れのある状況においては斜面と反対側の脚壁に避難するなど、**生命を守る最低限の行動**をしてください。
- ◆避難場所へ避難する際は、他の土砂災害危険箇所や浸水想定区域（浸水するおそれがある区域）を避けた避難経路を選択しましょう。
- ◆土石流危険箇所から避難する場合は、渓流から直角方向に避難し、できるだけ渓流から離れましょう。

⑤非常時に必要なものを普段から備えておきましょう。

非常用食品	ハザードマップ	軍手
飲料水	医薬品（傷薬等）	タオル
懐中電灯	下着	毛布
ラジオ・電池	防寒着	ティッシュペーパー
ヘルメット	雨具	貴重品類

災害時の主な連絡先（市外局番019）

盛岡市役所 総務部 危機管理防災課	651-4111
	603-8031
盛岡市役所 建設部 河川課	613-8431
水道 盛岡市上下水道局	623-1411
電力 東北電力㈱	653-2111
消防署 盛岡西消防署	647-0119
警察署 盛岡西警察署	645-0110

◆災害時に家族と連絡がとれない時は
NTT災害用伝言ダイヤルの活用（忘れてイナイ）
メッセージの録音：市外局番+171+1+自分の電話番号
メッセージの再生：市外局番+171+2+自分の電話番号
※携帯電話からもかかります。

◆身近な人の連絡先など、非常時に必要となる情報をメモしてください。

土砂災害ハザードマップ(厨川一丁目地区)

凡例

- 土砂災害特別警戒区域
- 土砂災害警戒区域
- 浸水想定区域
- 避難施設
- 主要な避難経路

1:2,500 (4cm=100m)



急傾斜地の崩壊
箇所番号: 027B1Q19
箇所名: 厨川一丁目

北上川

土砂災害に注意！




～日頃から土砂災害に備え、早めの避難を心がけましょう～

近年、「ゲリラ豪雨」や「数十年に一度の大雨」といわれるような、局所的・短時間での大雨の影響により、全国各地で土砂災害（かけ崩れ、土石流、地滑り）が発生しています。

盛岡市では、人家のすぐ近くに山地や丘陵が迫っている場所が多く、このような場所では、大雨や地震により土砂災害が発生する危険性があります。

「日頃からの備え」と「早めの避難」により、土砂災害から家族を、自分自身を守りましょう。

土砂災害の種類と前兆現象

	かけ崩れ（急傾斜地の崩壊）	土石流	地滑り
特徴	 <p>地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、大雨や地震によって急激に斜面が崩れ落ちる。</p>	 <p>山腹が崩壊して生じた土石や溪流の土石が、大雨によって一気に下流に押し流される。</p>	 <p>斜面の一部又は全部が、地下水の影響と重力によって、ゆっくりと斜面の下方に移動する。</p>
前兆現象	<ul style="list-style-type: none">・ かけから水が吹き出す。・ かけからの水が濁る。・ かけに亀裂が入る。・ 小石が落ちてくる。・ かけから音がする。	<ul style="list-style-type: none">・ 山鳴りや地鳴り、木の裂ける音や石のぶつかる音がする。・ 雨が降り続けているのに、川の水位が急に下がる。・ 川の水が急に濁る。・ 流木が流れてくる。・ 泥臭いにおいが漂う。	<ul style="list-style-type: none">・ 山腹や地面にひび割れや段差ができる。・ 沢や井戸の水が濁る。・ 斜面や地面から水が吹き出す。・ 建物や電柱、樹木が傾く。・ 井戸や野池の水かさが急激に変わる。

(イラスト提供) NPO 法人 土砂災害防止広報センター

このような「前兆現象」を確認したときは…

- ① 早めに安全な場所に避難し、
- ② 市の危機管理防災課（☎603-8031）に連絡してください。

裏面も御覧ください

日頃からの備え

- ① お住まいの地域が「土砂災害の危険がある箇所かどうか」を確認しておきましょう。
- ② 山地や丘陵が迫っている場所にお住まいの方は、がけから離れた部屋や2階の部屋で就寝するなど、日頃から「土砂災害の発生を意識した生活」を心がけましょう。
- ③ 災害時の避難に備えて、「避難場所」や「避難場所までの経路」を確認しておきましょう。
- ④ 「避難の際に持ち出しする必要最小限の物品」として、携帯ラジオ、救急医療品、貴重品、懐中電灯、非常食品、飲料水、衣類等をまとめておきましょう。

早めの避難

- ① 大雨などの際は、気象情報や市からの情報に注意し、避難勧告等が発表されたときは、すぐに避難してください。

市では、土砂災害警戒情報、大雨警報などの気象情報、地形条件その他の情報を含めて総合的に検討し、避難が必要と認められたときは、直ちに「避難勧告」や「避難指示」を発表します。また、必要に応じて「避難準備情報」を発表し、早めの避難準備を呼びかけます。

- ② 市から避難勧告等が発表されていないときでも、土砂災害の「前兆現象」が確認されるなど、危険を感じたときは、すぐに安全な場所に避難してください。



土砂災害の危険箇所（急傾斜地崩壊危険箇所・土石流危険渓流箇所・地すべり危険箇所）

市内には 596箇所の土砂災害危険箇所があります。

各地域の危険箇所は、各家庭に配布している防災マップに掲載していますが、市のホームページでも確認できます。URLは、次のとおりです。

- 旧盛岡市内の防災マップ

http://www.city.morioka.iwate.jp/anzen_anshin/hazardmap/bosaimap/002967.html

- 玉山区の防災マップ

http://www.city.morioka.iwate.jp/anzen_anshin/hazardmap/bosaimap/030285.html

⇒ 詳しくは、**総務部 危機管理防災課（☎ 019-603-8031）** にお問い合わせください。

土砂災害ハザードマップ

市では、土砂災害危険箇所のうち、「土砂災害警戒区域（221区域）」や「土砂災害特別警戒区域（警戒区域のうち169区域）」について、避難場所や避難経路を記入した地図の作成を進めています。完成した地図は、市のホームページに掲載しています。URLは、次のとおりです。

http://www.city.morioka.iwate.jp/anzen_anshin/hazardmap/31738/030469.html

⇒ 詳しくは、**建設部 河川課（☎ 019-626-7572）** にお問い合わせください。